製品安全データシート

作成日 2013/5/22

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	パラペット
製品コード	GR
整理番号	R22-003
会社名	株式会社クラレ
住所	東京都千代田区大手町1-1-3大手センタービル
担当部門	メタアクリル事業部、機能材料販売部、樹脂・光学部材販売課
電話番号	03-6701-1542
緊急連絡電話番号	03-6701-1542
FAX番号	03-6701-1575
メールアドレス	
推奨用途及び使用上の制限	

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	可燃性固体 区分外 自然発火性固体 区分外 自己発熱性化学品 区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 区分外 呼吸器感作性 分類できない 皮膚感作性 分類できない 生殖毒性 区分外 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。
GHSラベル要素	
シンボル	ー
注意喚起語	危険
危険有害性情報	吸入するとアレルギー、ぜん(喘)息又は呼吸困難を起こすおそれ アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
注意書き	
安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 換気が十分でない場合には、適切な呼吸用保護具を着用すること。 適切な保護手袋を着用すること。 必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。 粉じん、ヒュームを吸入しないこと。 ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
救急措置	吸入した場合、呼吸が困難な場合には、新鮮な空気のある場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚に付着した場合、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　混合物

一般名

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学特性	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
メタクリル酸メチル、アクリル酸メチル共重合体とメタクリル酸メチル、アクリル酸ブチル、スチレン共重合体の混合物	99.8%	(C5H8O2.C4H6O2)x,(C5H8O2.C7H12O2.C8H8)x	(6)-553,(6)-186		9011-87-4,27136-15-8
メタクリル酸メチル(残留モノマー)	0.2%	C5H8O2	(2)-1036		80-62-6

分類に寄与する不純物及び安定化添加物　情報なし

労働安全衛生法　名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)　メタクリル酸メチル(政令番号:557)(0.2%)

4. 応急措置

吸入した場合
被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
医師の手当、診断を受けること。
呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合
皮膚を速やかに洗浄すること。
多量の水と石鹸で洗うこと。
医師の手当、診断を受けること。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。

目に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。
医師の手当、診断を受けること。

飲み込んだ場合
口をすすぐこと。
医師の手当、診断を受けること。

予想される急性症状及び遅発性症状
加熱及び溶融させる時に発生するガスを吸入すると、頭痛、めまい、嘔吐等の症状を引き起こす場合がある。

5. 火災時の措置

消火剤
小火災:粉末消火剤、二酸化炭素、散水。
大火災:散水、噴霧水、通常の泡消火剤。

特有の危険有害性
火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
粉じん又は煙霧は空気と爆発性混合気を形成するおそれがある。

特有の消火方法
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
周辺の設備等に散水して冷却する。
避難して安全な距離から消火すること。

消火を行う者の保護
消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
関係者以外の立入りを禁止する。
作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

環境に対する注意事項
風上に留まる。
環境中に放出してはならない。
河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。

回収・中和		漏洩物を掃き集めて密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。
		粉じんが飛散しないようにする。 清潔な帯電防止工具を用いる。
二次災害の防止策		すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	技術的対策	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
	局所排気・全体換気	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。
	安全取扱い注意事項	使用前に使用説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
		空気輸送する場合、粉塵爆発防止対策を行うこと。
		火気注意。 接触、吸入又は飲み込まないこと。 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
		取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
	接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管	技術的対策	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
	混触危険物質	『10. 安定性及び反応性』を参照。
	保管条件	熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。－禁煙。
		直射日光を避け、冷所、換気の良い暗所で保管すること。
		酸化剤から離して保管する。 施錠して保管すること。
	容器包装材料	包装、容器の規制はないが密閉式の破損しないものに入れる。

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度、許容濃度

	管理濃度	許容濃度	
		日本産業衛生学会 2008年	ACGIH 2008年
メチルアクリレート、メチルメタクリレート共重合物	未設定	第3種粉塵 2mg/m3(吸入性粉塵) 8mg/m3(総粉塵)	PNOS 3mg/m3(respirable particles) 10mg/m3(inhalable particles)
メタクリル酸メチル	未設定	未設定	TWA 50 ppm STEL 100 ppm

設備対策		防爆の電気・換気・照明機器を使用すること。 静電気放電に対する予防措置を講ずること。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
		高熱取扱いで、工程で粉じん、ヒューム、蒸気、ミストが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。
保護具		静電気対策のため、作業衣、作業靴等は導電性のよいものを使用する。
	呼吸器の保護具	適切な呼吸保護具(防塵・防毒マスク)を着用すること。

	手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
	眼の保護具	必要に応じて個人用の眼の保護具を使用すること。
	皮膚及び身体の保護具	必要に応じて個人用の保護衣、保護面を使用すること。
衛生対策		取扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態	形状	固体（ペレット状）
	色	無色透明
	臭い	無臭
	pH	データなし
融点／凝固点		約100℃で軟化する
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		230～250℃ （セタ密閉式）
自然発火温度		300℃以上
燃焼性（固体、ガス）		可燃性。燃焼の場合は、高熱を伴い激しく燃える。
燃焼又は爆発範囲		データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
蒸発速度（酢酸ブチル＝1）		データなし
比重（密度）		1.17-1.18
溶解性		水に不溶、アセトン、トルエン等有機溶剤に可溶
オクタノール／水分配係数		データなし
分解温度		約300℃から分解開始
粘度		データなし
最小発火エネルギー		小麦粉・石灰粉より大

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の条件では安定である。
危険有害反応可能性	特になし。
避けるべき条件	避けるべき温度、圧力、衝撃、振動。 粉じんの発生。
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、メチルメタクリレート等。 PMMA/MA共重合物：加熱すると分解し、一酸化炭素、アルデヒドを生じることがある。
その他	粉塵雲が発生すると、粉じん爆発の危険性がある。 静電気を発生する。

11. 有害性情報

急性毒性	経口	メチルアクリレート、メチルメタクリレート共重合物：ラット LD>15000mg/kg メタクリル酸メチル：ラットLD50=7900mg/kg 各成分の毒性値を用いて計算（共重合物をLD50>5000mg/kgとして）すると、総合LD50>5000mg/kgとなることから、区分外とした。
	経皮	メタクリル酸メチル：ウサギLD50>5000mg/kg データ不足のため分類できない。
	吸入（蒸気）	製品が不揮発性であるため分類対象外。
	吸入（粉じん）	データがなく分類できない。
	吸入（ミスト）	ペレット状固体のため分類対象外。
皮膚腐食性／刺激性		区分2：メタクリル酸メチル 区分2の成分があるが、1%に未達であり、データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷／刺激性		区分2A：メタクリル酸メチル 区分2Aの成分があるが、1%に未達であり、データ不足のため分類できない。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性	区分1：メタクリル酸メチル

区分1の成分が0.1%以上含まれることから、区分1とした。

皮膚感作性 区分1：メタクリル酸メチル
区分1の成分が0.1%以上含まれることから、区分1とした。

生殖細胞変異原性 区分外：メタクリル酸メチル
データ不足のため分類できない。

発がん性 区分外：メタクリル酸メチル
データ不足のため分類できない。

生殖毒性 区分外：メタクリル酸メチル

特定標的臓器／全身毒性（単回ばく露） メタクリル酸メチル：区分3（麻酔作用、気道刺激性）

区分3の成分があるが、20%に未達のため、標的臓器として採用しなかった。

データ不足のため分類できない。

特定標的臓器／全身毒性（反復ばく露） メタクリル酸メチル：区分1（呼吸器、中枢神経系）

区分1の成分があるが、1%に未達のため、標的臓器として採用しなかった。

データ不足のため分類できない。

吸引性呼吸器有害性 ペレット状固体のため分類対象外。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性 区分3：メタクリル酸メチル
区分3の成分があるが、25%に未達であり、その他成分のデータがなく分類できない。

水生環境慢性有害性 区分外：メタクリル酸メチル
データ不足のため分類できない。

生態毒性 魚毒性／その他 オオミジンコ EC50(48h) =69mg/L
（メタクリル酸メチル）

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制 海上規制情報 非危険物
航空規制情報 非危険物

国内規制 陸上規制情報 非該当
海上規制情報 非危険物
航空規制情報 非危険物

特別安全対策 輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れを生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(メタクリル酸メチル)
消防法	指定可燃物、合成樹脂類(法第9条の3、危険物規制令別表第4)
労働基準法	疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条・別表第1の2第4号1・昭53労告36号)(メタクリル酸メチル)
	感作性を有するもの(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局長通達、基発第182号)(メタクリル酸メチル)

16. その他の情報

連絡先	株式会社クラレ
参考文献	株式会社クラレ製品MSDS (作成日1995/07/01) 安全衛生情報センター GHS－MSDS CHEMWATCH GHS－MSDS RTECS(2008) ezCRIC(日本ケミカルデータベース株式会社,2008)
その他	記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における科学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いいたします。